

上場会社名 株式会社 gumi 上場取引所 東
 コード番号 3903 URL http://gu3.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國光 宏尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 本吉 誠 (TEL) 03 (5358) 5322
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 9 月 12 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 4 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 4 月期第 1 四半期	5,333	△9.1	253	—	246	—	33	—
28 年 4 月期第 1 四半期	5,870	△17.4	△532	—	△495	—	△626	—

(注) 包括利益 29 年 4 月期第 1 四半期 △21 百万円 (—%) 28 年 4 月期第 1 四半期 △644 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 4 月期第 1 四半期	1.11	—	1.10	—
28 年 4 月期第 1 四半期	△21.40	—	—	—

(注) 1. 平成 28 年 4 月期第 1 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの 1 株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 4 月期第 1 四半期	17,269	72.3	12,494	72.3	12,494	72.3
28 年 4 月期	18,688	67.0	12,515	67.0	12,515	67.0

(参考) 自己資本 29 年 4 月期第 1 四半期 12,494 百万円 28 年 4 月期 12,515 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28 年 4 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29 年 4 月期	—	—	—	—	—	—
29 年 4 月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 4 月期の連結業績予想 (平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期(累計)	11,333	3.7	253	—	246	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 平成 29 年 4 月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第 2 四半期の業績予想のみを開示しております。

2. 「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1 株当たり当期純利益」については、税効果の見積りが困難であるため記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年4月期1Q	29,796,500株	28年4月期	29,796,500株
② 期末自己株式数	29年4月期1Q	—株	28年4月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年4月期1Q	29,796,500株	28年4月期1Q	29,260,021株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は5,333,535千円、営業利益は253,144千円、経常利益は246,006千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は33,134千円となりました。

当第1四半期連結累計期間に関する主な要因は次のとおりです。

①売上高

株式会社スクウェア・エニックスと共同開発し平成27年10月に配信を開始した「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」、株式会社Fuji&gumi Gamesと共同開発し平成28年1月に配信を開始した「誰ガ為のアルケミスト」、平成28年4月に配信を開始したオリジナルタイトル「クリスタル オブ リユニオン」等、前連結会計年度に配信を開始したタイトルが好調に推移し売上に寄与しました。一方、当社子会社の株式会社エイリムが平成25年7月に配信を開始した「ブレイブ フロンティア (日本語版)」及び当社が同年11月に配信を開始した「ブレイブ フロンティア (海外言語版)」の売上が配信開始後の期間経過に伴い減少したこと等から、売上高は5,333,535千円となり、前年同期に比べ、537,025千円の減少となりました。

②営業利益

営業利益は253,144千円（前年同期は532,069千円の損失）となりました。これは主に、支払手数料率の低いタイトルが増収したことにより支払手数料が減少したこと、また、平成28年3月及び同年4月の取締役会において決議した海外拠点の再編（事業撤退・事業縮小）に伴うコスト削減等により売上原価が減少したこと及び広告宣伝費の削減等により販売費及び一般管理費が減少したことによるものです。

③経常利益

経常利益は246,006千円（前年同期は495,837千円の損失）となりました。これは主に、営業外収益として補助金収入24,113千円、営業外費用として為替差損44,210千円を計上したことによるものです。

④親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は33,134千円（前年同期は626,251千円の損失）となりました。これは主に、特別損失として投資有価証券評価損152,938千円及び法人税、住民税及び事業税57,864千円を計上したことによるものです。

なお、当社はモバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は17,269,868千円となり、前連結会計年度末比1,418,579千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。

負債は4,775,496千円となり、前連結会計年度末比1,397,324千円減少いたしました。これは主に、未払金、未払法人税等及び長期借入金の減少によるものであります。

純資産は12,494,372千円となり、前連結会計年度末比21,255千円減少いたしました。なお、自己資本比率は72.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月期第2四半期の連結業績予想の前提条件は以下の通りです。

なお、連結業績予想につきましては、モバイルオンラインゲーム業界を取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い通期の連結業績予想を算出することが困難なため、第2四半期の連結業績予想のみを開示しております。また、同様の理由により将来の課税所得が短期的に大きく変動する可能性があること等から、繰延税金資産の回収可能性を見積もることが困難なため、「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」については開示しておりません。

①売上高

売上高はタイトル毎に積み上げ、予想値を算出しており、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の売上実績等を考慮し予想値を算出しており、リリース後、一定期間を経過した後に収益が通減することを見込んで算出しております。

新規タイトルは期待値に応じて予想値を算出しております。他社IPを使用したタイトルの場合はIPの知名度等を考慮し予想値を算出しております。

なお、平成29年4月期第2四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

・既存タイトル

- A) 「ブレイブ フロンティア (日本語版)」及び「ブレイブ フロンティア (海外言語版)」に関しては、配信後の期間経過を考慮しMAUは若干減少することを見込んでおり、ARPMUも低下することを想定しております。そのため、第1四半期(※)に比べて約20%の売上高減少を見込んでおります。
- B) 「ファントム オブ キル」に関しては、配信後の期間経過を考慮しMAUは若干減少することを見込むものの、2周年イベント等によりARPMUが上昇することを想定しております。そのため、第1四半期に比べて約10%の売上高増加を見込んでおります。
- C) 「誰が為のアルケミスト」に関しては、コラボレーション施策の実施等によりMAUは大幅に増加することを見込んでおり、ARPMUも上昇することを想定しております。そのため、第1四半期に比べて約90%の売上高増加を見込んでおります。
- D) 「クリスタル オブ リユニオン」に関しては、ARPMUは概ね同水準を見込むものの、プロモーションが限定的であることから、MAUが減少することを想定しております。そのため、第1四半期に比べて約25%の売上高減少を見込んでおります。

・その他の既存タイトル

足元のKPIを鑑み、売上高を設定しております。

・新規タイトル

保守的な売上高を設定しております。

(※) 第1四半期 : 平成28年5月ー7月

② 営業利益

営業利益は、売上原価(以下、「原価」)並びに販売費及び一般管理費(以下、「販管費」)を考慮し予想値を算出しております。

原価は、タイトル毎に運営費と開発費を積み上げ、予想値を算出しており、売上高同様、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の運営実績と今後の運営スケジュール等を考慮し予想値を算出しております。

新規タイトルのうち開発承認済みのタイトルは開発計画を考慮し、開発承認前のタイトルは過去の類似タイトルの実績等を考慮し予想値を算出しております。

なお、プラットフォームへの支払手数料及びサーバー費等の通信費は、売上高に一定割合で連動するように算出しております。

販管費は、費目別に費用を積み上げ、予想値を算出しております。

主な費目として、人件費は既存従業員に係る給与手当及び法定福利費等に加え、今後の採用計画に基づく新規採用者に係る人件費を考慮し予想値を算出しております。広告宣伝費は、新規タイトルのリリース予定やタイトル毎のプロモーション計画に合わせて予想値を算出しております。減価償却費は固定資産の取得等の設備投資計画を考慮し、また開発費は原則発生時に費用化していることから一部のタイトルを除き、ソフトウェア資産には計上しておりません。

なお、平成29年4月期第2四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

- A) 運営費及び開発費に含まれる人件費に関しては、国内、海外の人員適正化が一巡したことから、第1四半期と同水準を見込んでおります。
- B) 運営費及び開発費に含まれる外注費に関しては、仕掛中の新規タイトルの開発が本格化することから、第1四半期と比べて増加を見込んでおります。
- C) 広告宣伝費に関しては、配信中のタイトル数が増加したことに伴い、第1四半期と比べて増加を見込んでおります。

(新規タイトルの動向等により金額が増加する可能性があります。)

③ 経常利益

経常利益につきましては、営業利益に当期に発生が見込まれる営業外収益、営業外費用を考慮して算出した金額を予想値としております。なお、平成28年4月期第2四半期におきましては、営業外費用として借入金に係る支払利息を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 4 月30日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成28年 7 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563,440	10,048,584
売掛金	2,085,583	2,142,855
その他	759,953	696,294
貸倒引当金	△28,124	△26,758
流動資産合計	14,380,853	12,860,975
固定資産		
有形固定資産	215,862	200,772
無形固定資産		
のれん	164,341	147,113
その他	752,730	897,897
無形固定資産合計	917,071	1,045,011
投資その他の資産		
投資有価証券	2,069,096	2,189,474
その他	1,105,564	973,633
投資その他の資産合計	3,174,661	3,163,108
固定資産合計	4,307,595	4,408,893
資産合計	18,688,448	17,269,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 4 月 30 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 7 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	418,317	344,166
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	206,952	104,677
賞与引当金	125,454	63,982
その他	2,085,550	1,172,797
流動負債合計	5,336,274	4,185,622
固定負債		
長期借入金	750,000	500,000
資産除去債務	86,447	85,468
その他	98	4,405
固定負債合計	836,545	589,873
負債合計	6,172,820	4,775,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,948,894	8,948,894
資本剰余金	8,003,532	8,003,532
利益剰余金	△4,406,934	△4,373,800
株主資本合計	12,545,492	12,578,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25,766	△8,953
為替換算調整勘定	△4,098	△75,300
その他の包括利益累計額合計	△29,864	△84,254
純資産合計	12,515,627	12,494,372
負債純資産合計	18,688,448	17,269,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	5,870,560	5,333,535
売上原価	4,484,876	3,800,242
売上総利益	1,385,683	1,533,293
販売費及び一般管理費	1,917,752	1,280,148
営業利益又は営業損失(△)	△532,069	253,144
営業外収益		
受取利息及び配当金	217	204
経営指導料	2,400	2,400
補助金収入	—	24,113
持分法による投資利益	38,875	14,619
その他	13,238	2,146
営業外収益合計	54,731	43,485
営業外費用		
支払利息	9,152	3,893
為替差損	8,652	44,210
株式交付費	511	—
その他	182	2,518
営業外費用合計	18,499	50,622
経常利益又は経常損失(△)	△495,837	246,006
特別利益		
事業譲渡益	3,400	—
特別利益合計	3,400	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	152,938
特別損失合計	—	152,938
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△492,437	93,068
法人税、住民税及び事業税	48,910	57,864
法人税等調整額	102,883	2,069
法人税等合計	151,793	59,934
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△644,230	33,134
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,979	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△626,251	33,134

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△644,230	33,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,061	16,812
為替換算調整勘定	△4,842	△71,202
その他の包括利益合計	218	△54,389
四半期包括利益	△644,011	△21,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△626,419	△21,255
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,592	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年5月1日 至平成27年7月31日）

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年5月1日 至平成28年7月31日）

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。